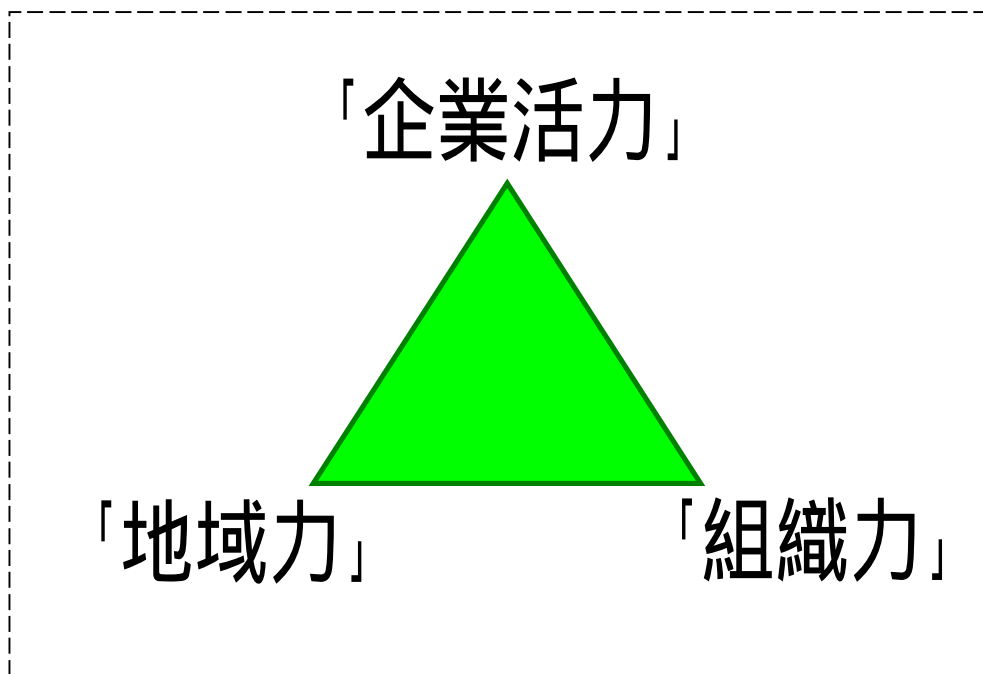


仙台商工会議所「中期(3カ年)ビジョン」
(平成22～24年度)

**地域商工業者とともに、
3つの力を着実に高めます！**



平成21年12月

仙台商工会議所

「中期ビジョン」策定に当たって

世界経済が過去に例を見ない不況からの脱却を目指して歩みを進めるなか、日本経済は政府による財政出動や外需回復等によって一部持ち直しの動きは見られるものの、いまだ地域経済の自律的な回復へ向けた力強さはなく、先行き不透明な状況が続いている。

地域企業はもとより都市経営においては、国政の枠組みが大きく変化したことによって、これまで当然のことと考えられていた社会認識や価値観を見直し、新たな機軸による柔軟な対応を図れるかどうか、その存続を左右する重要な局面を迎えている。

このような状況の下、今後仙台市が活力を維持していくためには、東北のなかの仙台を常に意識し、東北全体の発展をけん引するリーダーとしての役割が従来以上に求められる一方、東北一円にある45商工会議所のネットワークを生かしながら、空港・港湾・高規格道路などの既存ストックをいかに有効活用していくかが求められている。

この中期ビジョンは、地域企業がこのような時代のなかで本来持っている“企業力”にさらに磨きをかけていく上で必要となる仙台商工会議所における企業サポートのあり方や、将来にわたって仙台の地域力を持続させていくための方策、さらにはそれらを支えていくための組織運営体制について、選択と集中の考え方に基づき、平成22～24年度にかけて時代の環境変化に柔軟に対応しながら、行政や会員企業とともに重点的に行っていくべき活動方針としてとりまとめ、各年度の事業計画に反映し、実施していくものである。

当所は、地域総合経済団体として「会員企業に身近な、役に立つ商工会議所」を目指し、地域を構成する会員企業や多様な社会のニーズに応え、役員・会員の主体的な参加の下でさらに大きな相互信頼を得られるよう、事業活動を行っていく所存であるので、関係各位におかれては、さらなるご支援・ご協力をお願いしたい。

平成21年12月

仙台商工会議所
会頭 丸森 仲吾

<目次>

「中期ビジョン」策定に当たって	1
・企業活力創出のための役割強化	2
1．中小企業の経営力強化	
2．ビジネス拡大のための交流強化	
・地域力向上のための役割強化	4
1．政策提言機能の強化	
2．地域ものづくり力の強化	
3．文化・観光・スポーツ都市づくりの推進	
・組織・運営力の強化	7
1．会員組織・財政基盤の強化	
2．中期ビジョン推進のための会議所組織・事務局体制の確立	

．企業活力創出のための役割強化

1 ．中小企業の経営力強化

都市活力の源泉である地域企業が、ビジネスの中で自社の強みや創造性を生かし、より付加価値の高いサービス・商品を提供して、収益性を高めることが重要である。そこで、地域に密着した経営支援機関として、高度な専門相談にも応えられるよう、さらなる機能強化を図るとともに金融機関や他の経営支援機関との連携強化を図る。

< 経営力強化へ向けた取り組み >

(1) 経営相談機能の強化

- ・より地域に密着しながら、経営支援事業を推し進めるとともに、特に以下に掲げる「専門相談機能」を充実させ、中小・小規模企業の様々なニーズにワンストップで応えます。

創業、経営革新の相談指導強化

- ・専門家派遣制度（エキスパート・バンク事業）を積極的に推進し、創業の支援と中小企業の経営革新に取り組みます。

円滑な事業承継の促進

- ・事業承継問題の解決を図るべく、専門家を中心とした事業承継相談窓口を設置し、後継経営者の人材育成・マッチングに取り組み、円滑な事業承継を促進します。

マル経融資制度の積極的活用による金融指導の強化

- ・商工会議所独自の低利な融資制度である「マル経融資」（無担保・無保証人）の効果的な運用と利用促進を図るとともに、日本政策金融公庫や宮城県信用保証協会、地域金融機関との連携を強化し、地域中小企業に対する広範な金融支援事業を行います。

企業のIT活用サポートの強化

- ・中小企業の効果的なホームページ活用や、インターネットを介したソフトウェア利用など、情報ツールの活用を促進して、販路拡大や生産性改善をサポートします。

(2) 農商工連携プロジェクトの推進

- ・「農商工連携推進室」を設置し、中小企業が進める農林水産物を活用した新たなビジネスの創出やマッチング事業等、農商工連携プロジェクトを推進します。

(3) 情報発信機能の強化

- ・会員や地域に対する経営力強化のため、事業所訪問による受発信を行うとともに、インターネットを活用してタイムリーで経営に役立つ情報を発信し、商工会議所の事業・サービス利用につなげます。

(4) 人材育成機能の強化

- ・実践的能力を有する人材の育成をサポートするため、(仮称)「人材育成センター」を設置して、検定試験・講習会・企業内研修企画など、人材育成にかかわる相談にワンストップサービスで対応します。
- ・仙台市、宮城県などとともに新規学卒者などの離職率改善による定着化のための取り組みを進めます。

2 . ビジネス拡大のための交流強化

商工会議所の重要な機能のひとつである人的・情報交流の拡充に向けて、地域、企業経営者、従業員、NPO、市民等が幅広く刺激し合い、足りない部分を互いに補完し合うことで、かけ算の発想力で明日の活力を発揮できるような様々な交流機能の強化に努める。

< 地域・会員交流の取り組み >

(1) ビジネス交流の場づくり

- ・商工会議所というステージを活用した様々な会員交流会を開催し、会員メリットを生かしたビジネス交流の場づくり、参加したくなる仕掛けづくりに取り組みます(テーマ:まちづくり、ものづくり、環境、観光交流...)。

(2) 国際ビジネスサポートの強化

- ・地域中小企業が、仙台国際貿易湾や仙台空港の機能を生かしながら、国際的なビジネス交流を活発に展開できるよう、ジェットロ等関係機関と連携した取り組みを進めます。

．地域力向上のための役割強化

1 ．政策提言機能の強化

地域最大の意見団体として、商工会議所の政策立案機能を高め、これまでの要望・陳情型から実現可能なより具体的な方策を示す形へとシフトするとともに、社会情勢に応じた緊急性の高い課題に機動的に対処する意見集約の場を新たに設けることなどによって、会員企業の声を国・県・市の政策に反映し、会員企業が活力ある企業活動を行うための基盤づくりに努める。

< 意見集約・政策提言強化の取り組み >

(1) 政策提言機能の強化

- ・地域に密着しながら地域商工業者の意見集約に努めるとともに、社会情勢に応じた個別テーマに対してはフレキシブルな形で意見集約を図り、商工会議所の政策立案・提言機能を強化します。
- ・国会議員、知事、市長、県・市議員等との懇談会を開催し、中小企業者の声を行政に届けます。

2 ．地域ものづくり力の強化

平成28年度に県内総生産10兆円を目指した「富県宮城」の実現に向けて、県外からの企業進出や工場立地が相次ぐフォローの風を地域の力に変えていくため、経済界としての取り組みを加速させ、地元企業の新規参入へ向けた新たなネットワーク形成を図る。

また、大学等高等研究機関との実効性ある連携を進め、地域のブランド力を高めるなど、地域産業力を強化する取り組みを推進する。

< 地域ものづくり力を強化する取り組み >

(1) 広域ものづくりネットワークの形成

- ・「広域ものづくりネットワーク」の形成による仙台、米沢、会津若松、3都市商工会議所の相互ビジネス交流の推進をはじめ、広域として厚みのある産業集積を図るための取り組みを進めます。

(2) 進出企業との取引拡大

- ・進出企業との新たな取引拡大へ向けた連携強化を図り、地域力を高めます。

(3) 地域ブランド力の向上

- ・新仙台筆筒の創造や林業との連携など、「JAPANブランド育成支援事業」や「地域資源全国展開プロジェクト」などの枠組みの活用によって、地域ブランド力を高め、全国展開する取り組みを進めます。

3 . 文化・観光・スポーツ都市づくりの推進

地下鉄東西線整備を契機にしながら、東北の中核としての仙台都心、生活者の核となる周辺部地域において、市民のニーズにも耳を傾けながら、経済・文化・芸術・スポーツなどの活動が多層的に繰り広げられることによって、多様な欲求を満たす都市機能の充実を図り、「住んで良い、訪れて良い街・仙台」「風格のある街・仙台」を行政や市民、NPO等との協働によって商工業者の立場から体現していく。

上記都市づくりにあたっては、人口減少社会の中で交流人口を増大させていく視点を重視し、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の平成24年度の再度誘致を働きかけながら、商工業者自らが各々の持ち場で質の高いおもてなしを実践することを通じて、国内外からさらに多くの集客を図るための事業を進める。

< 仙台の都市格を高めるための取り組み >

(1) 都心・周辺部機能の充実

- ・地元、広域客双方から支持される魅力ある都心部のまちづくりを実現します。
- ・「ぶらり仙台まちめぐり」をはじめとして、周辺地域を含めた街の散策を楽しめる環境づくりに努め、歴史、伝統、文化、地元プロスポーツ、人財等の地域資源を生かしたまちづくりを進めます。

(2) 地下鉄東西線など環境にやさしい都市形成の促進

- ・低炭素地域社会の形成を目指し、地下鉄南北線や東西線の骨格交通軸を生かした仙台圏のコンパクトな土地利用や、総合交通体系のあり方を検討するとともに、その実現に必要なまちづくり活動を行政・経済界・市民が一体となって取り組みます。

(3) 東北夏祭りネットワークで交流人口増加推進

- ・「東北夏祭りネットワーク」の設置を通じて、仙台七夕まつりをはじめとする東北各地のお祭り主催団体が連携して誘客宣伝活動など、効果的で実効性のある取り組みを展開することによって、東北へのインバウンド・滞留拡大を図り、地域全体としての経済効果を高められるようにします。

(4) 都市の魅力をもつめる諸施設の整備

- ・東北をリードする都市機能を強化するため、「長期公演可能なミュージカル劇場」、「文化伝承のための会館」、「文化ホール」の整備推進に努めます。

(5) 仙台城の復元

- ・仙台市のシンボル、そして仙台市民の心のよりどころとなる「仙台城」の復元を目指した活動を進めます。

(6) 「まち歩き」が楽しめる都市づくりの推進

- ・仙台市民をはじめ、他地域から来訪するお客さまが、楽しみながら仙台の歴史・文化・伝統・産業などをより良く知ることができるよう、様々な地域資源を生かした「まち歩き」の仕組みづくり、担い手づくりを行政や関係団体と協力して進めます。

< 企業の地域貢献を進める取り組み >

(1) 企業の地域社会参画の促進

- ・商工業者が地域づくりの担い手の一員として、商店会等のまちづくり活動に積極的に参画するよう促します。

(2) 環境に配慮した企業活動の推進

- ・商工会議所が、環境に配慮した活動を率先して行い、地球にやさしい活動を拡大していくため、「環境行動計画」を策定します。

・組織・運営力の強化

1 . 会員組織・財政基盤の強化

商工会議所が地域を代表する総合経済団体として、会員数は地区内商工業者の声を反映する指標であり、将来にわたって会員企業や地域活性化に積極的に対応していくために、まずはその土台として強固な組織・財政基盤を築いていく。

< 事業を推進するための組織・財政基盤強化の取り組み >

(1) 会員組織強化実行計画の推進

- ・当面 8,000 会員とするべく、役員・議員・事務局が一体となって「会員組織強化」実行計画（平成 21 年 9 月臨時議員総会決定）を推進し、10,000 会員を目指します。

(2) 組織定着率の向上

- ・ニーズにあった会員サービスメニューを構築するとともに、新入会員等の事業の積極活用を促し、組織定着率を高めます。

2 . 中期ビジョン推進のための 会議所組織・事務局体制の確立

時代の環境変化に即した柔軟かつ効果的な事業・意見活動を行えるよう部会運営のあり方や委員会活動の活性化を検討するとともに、機動的に動ける事務局体制の確立を図る。

< 時代に即した組織確立に関する取り組み >

(1) 部会運営のあり方の検討

- ・合同部会の開催等による横の連携強化をはじめとして、開催回数や時間帯など、弾力的で効果的な部会運営のあり方を様々な角度から検討します。

(2) 委員会活動の活性化

- ・経済環境変化に即した意見活動を強化するために、中堅・若手などの人材発掘を含め、各層各界からの参画による委員会などの設置・運営を検討します。

(3) 議員の選挙・選任に関する検討

- ・効率的で分かりやすい1号議員選挙を実施します。
- ・2号議員の選任手続きの簡素化について検討します。

(4) 機動的に動ける事務局体制の確立

- ・中期ビジョンを推進する上で、機動的に動ける事務局体制を確立するとともに職員の資質向上を図ります。
- ・商工会議所への様々な問い合わせにスムーズに対応できるよう「会員ワンストップ窓口」を設け、分かりやすく利用しやすい体制を確立します。

「中期ビジョン」策定に向けた検討経過

1. 議員懇談会

- (1) 実施期間：平成21年10月6日(火)～21日(水)の6日間
- (2) 出席者数：当所副会頭、部会長、議員のべ60名
 - 10月6日(火) 14:00～16:00 11名
 - 10月8日(木) 10:00～12:00 9名
 - 10月9日(金) 10:00～12:00 10名
 - 10月13日(火) 14:00～16:00 11名
 - 10月19日(月) 14:00～16:00 9名
 - 10月21日(水) 14:00～16:00 10名

2. 「中期ビジョン」策定に関するアンケート調査の実施

- (1) 対象：当所部会長・議員
- (2) 実施期間：平成21年10月中
- (3) 調査内容：中期ビジョン策定にあたり、力を入れて取り組むべき事業を選択方式で回答。

3. 「中期ビジョン」策定に向けた検討会の開催

- (1) 第1回検討会
 - 日時：平成21年11月9日(月) 13:30～15:30
 - 出席者：13名
 - 事項：仙台商工会議所「中期ビジョン」の策定について
- (2) 第2回検討会
 - 日時：平成21年12月9日(水) 14:00～16:00
 - 出席者：10名
 - 事項：仙台商工会議所「中期ビジョン」タタキ台について

(3) 検討会委員名簿

副会頭	仙台商工会議所副会頭	庄子	正文
委員	小売商業部会		
	(株)湯目家具百貨店	湯目	一潔
	卸売商業部会		
	(株)ビーエステクノ	馬場	武雄
	工業部会		
	(株)ユ・メディア	今野	敦之
	貿易部会		
	セルコホーム(株)	新本	恭雄
	理財部会		
	(株)七十七銀行	鎌田	宏
	不動産部会		
	岩谷財商(株)	松田	英一
	交通運輸部会		
	仙台運送(株)	菊地	徹
	文化観光部会		
	(有)中村旅館 ホテルセントラル仙台	中村	兼久
	女性会		
	(有)ひらが	平賀	ノブ
	青年部		
	(株)三原本店	三原健太郎	
	(社)仙台青年会議所	三浦	毅
	中央通り連合会	鈴木	泰爾
	(株)橋本店	佐藤	博俊
	(株)藤崎	田中	昌志
	仙台タ - ミナルビル(株)	菊池	眞澄

4 . 執行部会

日 時 : 平成 21 年 12 月 15 日 (火) 12:30 ~ 14:00

出席者 : 7 名

事 項 : 仙台商工会議所「中期ビジョン」(案)について

発行日 平成 2 1 年 1 2 月

発 行 仙台商工会議所
〒980-8414 仙台市青葉区本町 2-16-12
電話 022-265-8182
URL <http://www.sendaicci.or.jp/>